

デジタル田園都市国家構想交付金の 活用について

#Smart City NAGANO ~市民と創る最高のまちづくり~

企 画 政 策 部
新産業創造推進局

デジタル田園都市国家構想交付金の概要

- 「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向けて分野横断的な支援を実施
- 令和5年度概算要求においては、計1,200億円(+事項要求)を要求

<令和5年度イメージ>

デジタル田園都市国家構想交付金

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金

デジタル田園都市 国家構想推進交付金

地方創生 交付金

地方創生拠点 整備交付金

デジタル実装タイプ[°] (仮称)

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、以下の取組を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード/ソフト 経費を支援

- **他の地域で既に確立されている優良モデルを活用した実装の取組(優良モデル導入支援型(TYPE1))**
- デジタル原則とアーキテクチャを遵守し、オープンなデータ連携基盤を活用する、モデルケースとなり得る取組(データ連携基盤活用法(TYPE2))
- 新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組(マイナンバーカード高度利用型(TYPE3))
- 「転職なき移住」を実現するとともに、地方への新たなひとの流れを創出する取組(地方創生テレワーク型)

地方創生推進タイプ[°] (仮称) 地方創生拠点整備タイプ[°] (仮称)

地域再生法に基づき、地方公共団体が策定した地方版総合戦略に位置付けられ、地域再生計画に記載された先導的な取組や施設整備等を安定的かつ継続的に支援

- 自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する先導的な取組や施設整備等(最長5年間)
- 東京圏からのUIターン促進及び地方の担い手不足対策
- 省庁の所管を超える2種類以上の施設(道・污水处理施設・港)の一体的な整備

デジタル実装タイプ(仮称)TYPE1/2/3の全体像

- TYPE1では他地域のモデルの横展開、TYPE2、3ではデータ連携基盤やマイナンバーカードの活用など、各自治体を先行した取組となるモデルケースが求められている

目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要な経費を支援 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】(TYPE2の要件を満たす)新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組
共通要件	①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立

カードの 新規用途開拓	国費:6億円 補助率:2/3
データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費:2億円 補助率:1/2
優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費:1億円 補助率:1/2
デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業

<対象事業 (一例) >

【TYPE3】
マイナンバーカードで各種市民サービスを利用 (図書館利用や避難所の受付等)

【TYPE2】
複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ (会津若松市)

【TYPE1】
書かない窓口 地域アプリ 医療MaaS ドローン配送 遠隔医療

<その他の新規要素 >

- ・マイナンバーカードの利活用促進、スタートアップの活用促進など、国の重要施策を推進する観点からの一定の優遇措置
- ・KPI (デジタル実装1,000団体) 達成に向けたボトムアップ支援

※申請上限数: 都道府県9事業、市町村5事業

デジタル実装タイプの新規追加要素について

- 基本的な制度設計は、令和3年度補正のデジタル田園都市国家構想推進交付金の内容を継続している
- 一方で、変更点としては、マイナンバーカードの普及促進、スタートアップの活用、地域間連携など、重点施策を推進する観点から、新たな優遇措置等が講じられている

※以下のほか、デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定における議論を踏まえ、更なる措置を検討

	対象	上限額補助率	カード交付率	カード利活用	スタートアップ活用	地域間連携	その他
マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】	カードの 新規用途開拓	国費:6億円 補助率:2/3	一定以上の 交付率を 申請要件	カードの 新規用途 開拓が 必須要件			TYPE2/3採択 団体のTYPE1 申請は、データ 連携基盤と接続 するサービスの み認める
データ連携基盤活用型 【TYPE2】	データ連携基盤を 活用した、複数の サービス実装を伴 う取組	国費:2億円 補助率:1/2		カードの 利活用を 含む場合 は加点	サービスの 提供主体の 場合は加点	一定の 地域間 連携事業 は加点	
優良モデル導入支援型 【TYPE1】	優良モデル・サービ スを活用した実装の 取組	国費:1億円 補助率:1/2	採択に あたり交付率 を勘案				未採択団体を 優先採択
計画策定 支援事業	デジタル実装に取り 組もうとする地域の 計画づくりを支援	委託事業					

※申請上限数:都道府県 9事業 市町村 5事業まで
 ※赤枠線内が新規追加要素

デジタル田園都市国家構想交付金活用に向けた市としての方向性

5

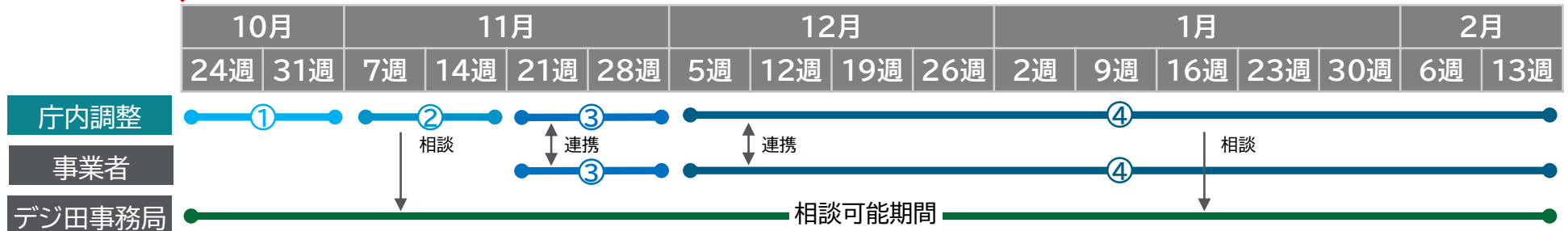
デジタル実装タイプ TYPE1 <優良モデル導入支援型> ※申請受付:12月初旬~2月中旬

【概要】	【補助内容】	【申請上限数】
他の地域等で既に確立されている優良モデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組	1事業当たり国費:1億円、補助率:1/2 (事業費ベース:2億円)	5事業/広域連携事業は枠外とする措置あり ※未採択の地方公共団体等の事業を優先的に採択

方向性

各課のニーズや取組課題を集約し、横串を刺した上で、
共通する地域課題の同時解決と市施策の全体最適化を図る
(新産業創造推進局が庁内調整を担当)

↓ 10/27関係課長会議、11/1部長会議



Step①/事前調査
(~11月4日)

Step②/全体設計
(~11月14日)

Step③/事業者との事前調整
(~11月30日)

Step④/申請準備
(12月1日~2月中旬)

【ニーズの把握・取組課題の抽出】
各課の要望や抱えている課題、
導入を希望する技術などを調査

【全体設計】
調査結果を踏まえ、取組全体を
最適化するグランドデザインを検討

【導入技術検討・事業者連携】
申請に当たり連携する事業者との
事前打ち合わせを実施
※詳細については、
新産業創造推進局内にて検討中

【申請に向けた調整】
連携事業者や関係各課と協同し、
申請資料の作成、
年間スケジュールの計画等を推進

【事前相談】 デジ田事務局へ事前相談を実施(~11月:素案レベルで可、12月~:申請計画書記載の上相談可)

アンケート調査等の概要

- 各課の抱えている課題、導入を希望する技術などの要望をまとめ、意向に配慮した効率的な技術導入を目指すため、アンケート調査等へのご協力をお願いします

実施目的

デジタル田園都市国家構想交付金の応募に向け、各課のニーズや取組課題を集約し、横串を刺した上で、共通する地域課題の同時解決と市施策の全体最適化を目指す施策を検討するため

アンケート回答期限

11月4日(金) 正午まで

アンケート後の流れ

